

【科目名】総合演習 I		【担当教員】藤間、高橋圭、他						
【授業区分】専門分野（特論）	【授業コード】 5-33-1280-0-1	(メールアドレス)touma@nur.ac.jp						
【開講時期】3年次・通年	【選択必修】必修	(オフィスアワー)金曜以外の平日 9:00～18:00						
【単位数】1	【コマ数】10 コマ							
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件) 実習に関連が深い領域の国家試験対策を中心に学習を行う。  (受講のルールに関わる情報・予備知識) 国家試験過去問題を中心に学習を進める。								
<b>【講義概要】</b> (目的) 1, 2, 3年 で学習した内容について総合的にその理解や、知識を確認し、不十分な点について学生自ら自覚し、弱点を補強してゆく目安とする。また不十分な科目を発見し、復習することで4年進級にたる力を備えていく。 (方法) 講義や模擬試験を行う。								
<b>【一般教育目標(GIO)】</b> 今まで学習してきた科目に対応する国家試験過去問題を確認し、必要な知識をつける。								
<b>【行動目標(SBO)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験過去問題の傾向を把握する。</li> <li>・ 今まで学習した科目に対応する国家試験過去問題を解くことができる。</li> </ul>								
<b>【教科書・リザーブドブック】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療研修推進財団, 『言語聴覚士国家試験出題基準』, 医歯薬出版, 2014. ¥2200 (税抜き)</li> <li>・ 廣瀬 肇監修『言語聴覚士テキスト第2版』, 医歯薬出版, 2012. ¥4000 (税抜き)</li> <li>・ 医学辞書 (種類は問わない)</li> <li>・ 各科目で使う教科書を適宜使用する</li> </ul>								
<b>【参考書】</b>								
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定のG P A制度に従う。 模擬試験成績、課題等により評定する。								
【達成度評価】	試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合	60						40	100 点

平成 26～28 年度入学者用

評価指標	取り込む力・知識	40					40	80
	思考・推論・創造の力	20						20
	コラボレーションとリーダーシップ							
	発表力							
	学修に取り組む姿勢							
【授業日程と内容】								
回数	講義内容	授業の運営方法		学修課題(予習・復習)		時間(分)		
1	国家試験とは 出題基準	講義						
2	国家試験対策学習方法 目標設定、ノートのまとめ方など	講義						
3	国家試験対策 単語帳の作成方法	講義など						
4	国家試験対策 過去問題の学習方法	講義など						
5	国家試験対策 神経系の機能構造病態	模試など						
6	国家試験対策 臨床神経学	模試など						
7	国家試験対策 失語症	模試など						
8	国家試験対策 高次脳機能障害	模試など						
9	模擬試験	模試						
10	模擬試験	模試						

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。